

# PAMS

フィッシング詐欺から守る！

学習駆動

コースコンテンツゼミ 邑中寛和

## 開発背景

フィッシング詐欺というものをご存じだろうか。偽のログイン画面でログインしてしまい、情報を抜き取られるというものだ。現代日本ではSNSを使用する人は急速に増加しているが、同時にアカウント乗っ取り等のフィッシングに引っかかる人も、急速に増加しているのが現状である。そこで、フィッシングメッセージを検知し、自動で教えてくれるアプリケーションが必要であると考えた。本アプリは、通知を読み取り、それを推論しユーザーにフィッシングメッセージ警告することで、安全にアカウントを運用できるようにするために作られた

## 1

### PAMSの概要

通知内容を読み取り、APIサーバーに送信。

サーバーでAIが推論する

送り返された結果をもとに警告通知をする

誤検知などの場合は開発者に報告できる機能も搭載。

## 2

### 開発環境

使用ソフト：  
Android Studio



言語：Kotlin

AI部分：ONNX

APIサーバー：  
DigitalOcean・App Platform

## 3

### セキュリティ

cloudflareのAccessTunnelを使用

サーバーには通知内容を残さず、処理が終わった時点でnullへ。

ログ等も一切流出しないようにしている

## 4

### 透明性

セキュリティアプリにおいて透明性は最も重要な事項である。

通知の扱いに関しては、利用規約・プライバシーポリシーに記載し、それに準拠する

GitHubなどにコードの公開を検討する

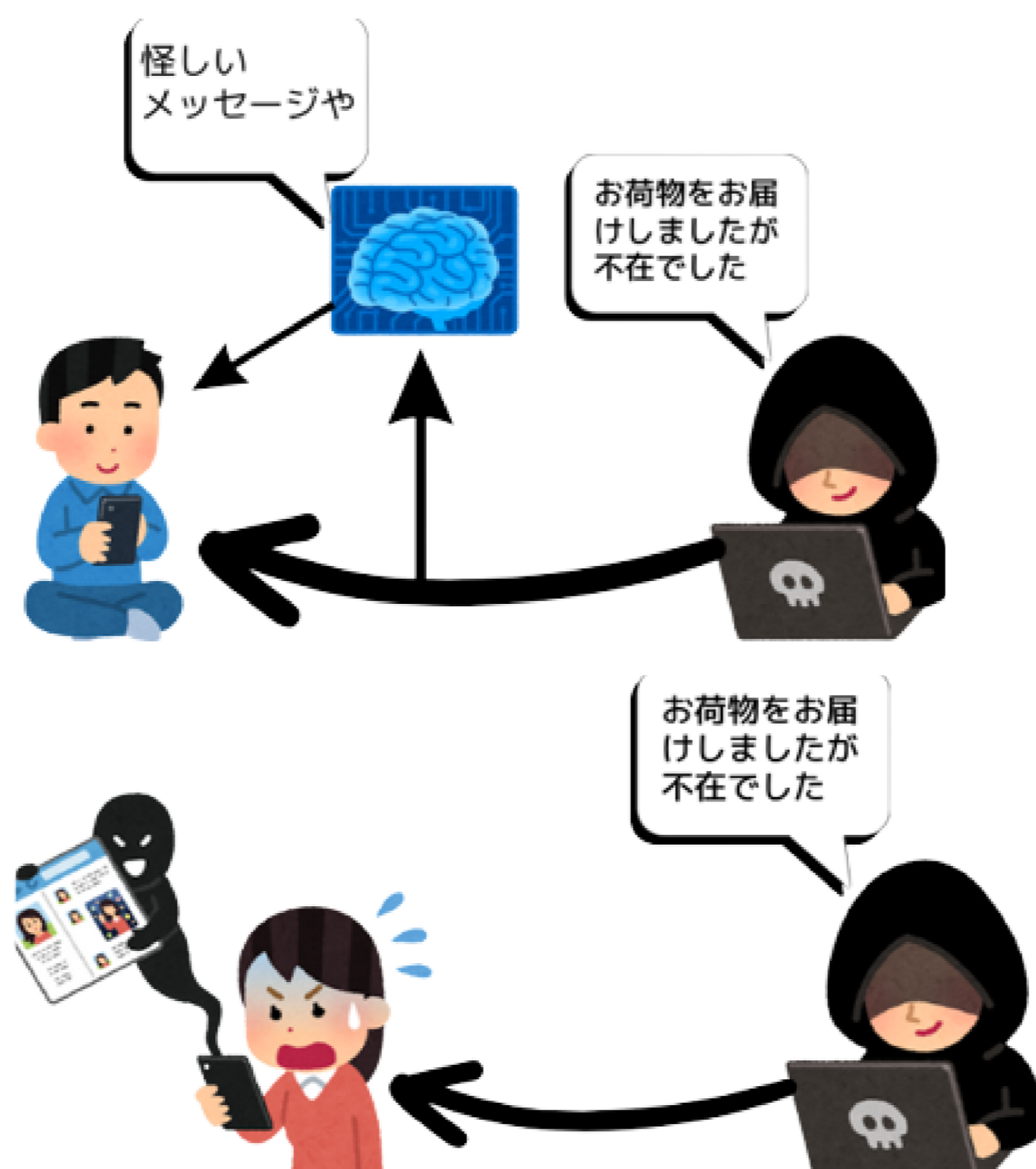
## 5

### 開発で気づいたこと

・AIや機械学習を使用するアプリ、ネイティブモジュールを書く必要のあるアプリは絶対にreactnativeなどのフレームワークで書かないこと→結局ネイティブコードを書かされるので最初からネイティブで書いた方がいい。

・使用しようとしたオープンソースは本当に安全なのか絶対に確かめること。スターやpullが少ない物は使わないこと

・Todoやissueの管理は、アプリ開発より優先して行う→当たり前だがこれできていないと土台がないピラミッドのように崩落してしまう



## 6

### 結論

現状、PAMSはAndroid版しかないことや、年齢制限でGoogle Playにリリースできないなど課題はまだある。今後何らかの方法で、リリースできるように努力していく。

また、SecHack365を修了した後もPAMSの開発継続はもちろん、他のアプリケーションの開発もしていく。

事前登録ページ



PAMSへのコメント



開発ブログ

